

2017年9月26日掲載

「パートナーシップ」

理事を務めている一般社団法人・北海道女性支援協会主催の「輝く女性交流会」を札幌市内のホテルで開催した。女性の力で北海道を元気にしようと毎年秋に実施し、今年で3回目。講演には北海道にゆかりのある漫画家のヤマザキマリさんをお招きした。

例年定員100人のところ、企画段階で今年はさらに多くの方を呼ぼうと200人にした。定員を増やしたことでいつも以上にメンバーたちと会話を重ねて集客の可能性を広げてき、さらに他の女性団体にも協力してもらった。おかげで当日は約190名の女性経営者や主婦、OLの方をはじめ、女性支援に力を入れている行政・企業の男性にも参加していただき大盛況だった。

私はこれまでの仕事で身についてしまったのか、「頼らず一人でやる」価値観が強い。できなかつたら嫌だ、一人でやった方が早いというような感覚があり、なかなか抜け出せなかった。

しかし、さまざまな人と一緒に仕事をするようになって、できなかつたときに自分が責められるわけでもなく、むしろ他の人とやった方が視野も広がり、軽やかに結果が出ることに気づいた。先日も岩見沢でコーチングの研修の際、4か月前からパートナーたちと参加者の結果につながる場を探究し、当日はより質の高い内容を届けられた。

「他の人とやってもいい」と思えるようになってから、自分の器も広がった気がする。パートナーシップを組んで、さらに大きな結果を一緒に創っていく自分でありたい。

(毎日新聞)